（様式⑦－１　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心･健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立　新湊小学校
校長　大矢根　克典

中学校区におけるめざす子ども像	主体的に学び、夢に向かって、努力し続ける子

令和６年度　学校教育目標「心身ともに健康で、仲間とともに、自ら学びを深める児童の育成」
重点目標　①知ー自ら学びを深めるーすすんで学習し、積極的に活動する子
②徳ー仲間とともにー仲間とつながり、ささえあえる子
③体ー心身ともに健康でー明るく元気で、たくましい子

「確かな学び」の現状
トレーニングタイムや日頃の授業研究の成果等により、校内期末評価テストの平均は８０点を上回っている。
ＣＢＴ調査では国・算ともに「自分の考えをノートに書いている」の項目で概ね８０%以上であったが、さらにすべての教科で、自分の考えをもてる子どもを育成する必要がある。

「豊かな心・健やかな体」の現状
仲間づくりに取り組み、違いを認め合える集団づくりをめざしている。さらに誰一人取り残さないため、一人ひとりの居場所を保証し、一人ひとりの課題に応じた対応や支援を続ける必要がある。
子どもらしい元気さや活気があり、体育的行事等で力を発揮することができる。生活習慣チャレンジ等の結果から、基本的生活習慣に課題のある児童には、家庭の協力を得ながら個別に改善を図る必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組、★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～１１月）		達成状況（年度末） 自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本の定着	基礎的・基本的な知識技能の定着を図る。	トレーニングタイムを活用して、基礎学力の向上を図る。	国語・算数２学期末評価テスト「知識・技能」において８０点以上。	評価テスト	３学期	○	授業等でも継続的に基礎基本の定着に努めている。	○	国語・算数２学期末評価テスト「知識・技能」における平均は、８５．７点であった。 「授業中、タブレットを使って調べ学習をしたり、写真を撮ったりすることが週３回以上ある」の３年生以上の肯定的回答は、６８%であった。	○	引き続き、基礎的・基本的な知識技能の定着を図るとともに、パソコンの活用を推進してほしい。
			ＩＣＴの活用を推進する。積極的活用から効果的活用への転換をめざす。	３年生以上において、授業で週３回以上GIGAスクールパソコンを使用する。	学校アンケート（児童）	２学期末	○	授業観察では、積極的にパソコンを活用している様子が見られる。	△		△	
	授業改善	すべての教科で、自分の考えをもてる子どもを育成する。	各学年で定めた研修の主軸に従い、全学年で研究授業、協議を行い、授業研究を充実させることにより、授業力向上を図る。	授業後の研究協議の成果や課題を全校で共有し、その後の授業改善に活かしている。	実践報告	毎学期	○	11月末までに4学年で授業研究を実施した。授業後、全教員による研究協議を行い、市教委から派遣された指導主事による指導助言を受けた。	○	１月までに全学年で授業研究を実施し、授業後の研究協議や指導主事の指導助言が、その後の授業改善に活かされた。 「授業中、ノートにめあてや振り返りを書いている」の肯定的回答は、８８%であった。	○	今後も引き続き、教員の力量を高め、授業改善を推し進め、自分の考えをもてる子どもを育成してほしい。
			●年間を通して計画的、意図的に自分の考えをもち、それを表現できる場面を設定した授業を行う。	「授業で自分の考えをもつことができた」「ノートに自分の考えよく書いている」で、肯定的評価８０%以上。 目標とする授業を確実に実践する。	質問紙 実践報告	年度末	○	授業観察では、自分の考えをもち、それを表現できる場面を設定した授業が実践されている。	○		○	
			★授業で必ず自分の考え等を書く場面を取り入れたり、自分の考えを深めたり広げたりする交流活動を取り入れる。				○	授業観察では、自分の考え等を書く場面を取り入れたり、自分の考えを深めたり広げたりする交流活動を取り入れた授業が実践されている。	○		○	
豊かな心･健やかな体	豊かな心の育成	あらゆる教育活動の場で、豊かな人間性を育成する。	●「一人ひとりの違いを認め合うことができるクラスづくり」のために、各学年、各学級で取り組みを進める。	学校アンケート（児童）の「学校へ行くのが楽しい」が肯定的評価８０%以上。	学校アンケート（児童）	２学期末	○	各種行事のみならず日々の授業でも、学年・学級集団作りを意識した指導を意図的に実施している。	○	「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答は、昨年度と同じ８６%でだった。しかし、否定的回答も１４%あることを真摯に受け止め、さらに取り組みを推し進めることが必要である。 「学校は、自分を大切にすることや他人への思いやりの心が育つように人権を尊重する教育の推進に努めている」の肯定的回答は、昨年度より６ポイント上がり９６%であった。	○	「学校へ行くのが楽しい」に対する１４%の否定的回答に対して、今後、具体的にどのような取り組みを行い、またその検証結果がどうであったかを、明らかにしてほしい。
			毎学期のいじめアンケート（全学年）、アンケート「hyper-QU」（４～６年）の結果を把握し、いじめ等の未然防止、早期対応を行う	学校アンケート（保護者）の「学校は人権を尊重する教育の推進に努めている」肯定的評価８０%以上。	学校アンケート（保護者）	２学期末	○	いじめアンケートの結果のみならず、日々の一人ひとりの子どもたちの言動やお互いの関係を注意深く見守り、いじめの早期発見・即時対応に努めている。	○		○	
			「特別の教科　道徳」の適切な指導を計画的・継続的に充実させる。	教科書や「未来をひらく」を効果的、計画的に活用する。	実践報告	年度末	○	各学年、道徳の年間指導計画に基づき、授業実践を行っている。	○		○	
	健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる。	課題のあった瞬発力等の向上を図る運動を、意図的、計画的に準備運動やサーキット運動等に、取り入れる。	年間を通して課題の解決に向けた運動を取り入れることに取り組む。	全国体力･運動能力運動習慣調査	年度末	○	授業で十分な運動量を確保するとともに、課題のあった瞬発力等の向上を図る運動を意識して取り入れている。	△	立ち幅跳びについては、男女とも全学年で堺市平均を下回っており、今後も継続的な取り組みが必要である。 生活習慣チャレンジで、毎月自分の生活を振り返ることができた。	△	学校での運動量の確保のみならず、放課後や校外でも運動できる環境の整備が必要である。
			基本的生活習慣（特に、早寝早起きの習慣、朝ごはんを毎日食べる）を確立させる。	生活習慣チャレンジ等の結果を活用し、児童自身で生活を振り返り、改善に取り組む。	実践報告	毎学期	○	生活習慣チャレンジを継続し、健康な日常生活を過ごすことを意識づけている。	○		○	
地域連携	信頼される学校	保護者、地域と歩む学校づくりを進める。	教育活動についてＨＰや学校、学年便り等で発信し、保護者や地域の理解、協力を得る。	学校ＨＰを課業日には毎日更新する。ＨＰアクセス数を１日平均150以上にする。(昨年度138)	実践報告 アクセス集計	年度末	△	学校ＨＰは概ね毎課業日に更新できているが、アクセス数の１日平均は150に届かない見通しである。	△	２月末で、学校ＨＰのアクセス数の１日平均は、昨年度と同程度あるいはそれを下回る見通しである。 ただ、「学校の様子がよくわかるように、学校・学年だより、ＨＰが工夫されている」の肯定的回答は、昨年度より８ポイント上がり９４%であった。	○	校内でのふとん太鼓見学等、今後も地域のよさを知る取り組みを推進してほしい。
			地域探検等の地域学習に取り組み、地域を愛し、誇れる子どもを育成する。	「総合」「生活」等の学習で、地域のよさを知る活動を実施する。	実践報告	年度末	○	２年生の「町探検」や４年生の「防災学習」等で、フィールドワークを伴う地域学習に取り組んでいる。	○		○	

校長より（年度末）
保護者・地域の皆様には、本校の教育活動にご理解・ご支援いただき、ありがとうございました。皆様のお力添えにより、学校関係者の皆様からも、多くの項目で肯定的に評価していただきました。しかし、さらなる改善をご指摘いただいた項目もあり、今後の教育活動の改善に活かしてまいりたいと考えています。

学校関係者評価者から（年度末）
教職員の日々の頑張りについてはよく認識している。学校は、保護者・地域の声を聴きながら、保護者・地域の力も借りて、すべての子どもたちのために教育活動に邁進してほしい。